GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

医歯工学的アプローチを活用した老化細胞研究

大阪歯科大学・口腔解剖学講座

本田義知 主任教授

2026年11月19日（木）15時00分~
第1研究棟2階大会議室

医歯工学研究は、新たな治療法創生やバイオロジー研究を大きく後押しする潜在性を持ちます。特に、その基盤となるバイオマテリアルは、臨床において実装されているだけでなく、*In vivo*、*In vitro*での疾患モデリングなどにも応用されています。本発表では、演者らがこれまで取り組んできた医歯工学的アプローチを応用した細胞老化研究と、最近挑戦的に取り組んでいる唾液研究について簡単に紹介させていただきます。

主に、下記の3点について紹介させていただければ幸いです。

1. バイオマテリアルを応用した疾患モデリング
2. 生体内での老化細胞制御を目指す生体材料開発
3. 全身疾患の早期発見に向けた唾液内mRNA採取法の探索